

## スクミリンゴガイ対策に取り組めます！

伊予管内では、田植え直後に水稻を食害するスクミリンゴガイが急増しており、それに伴う補植の手間や農薬代の増加により、水稻経営を圧迫しています。そこで11月20日、スクミリンゴガイ研究の第一人者である国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構の松倉敬一郎氏を招いて、集落営農組織等を対象に勉強会を開催しました。

令和3年度からは、実証ほ場を設置し、入水期における侵入防止網の設置やほ場の均平化、浅い耕起などの技術と農薬散布を組み合わせ、二毛作の盛んな管内農業体系に対応した防除対策を検討します。



勉強会の様子

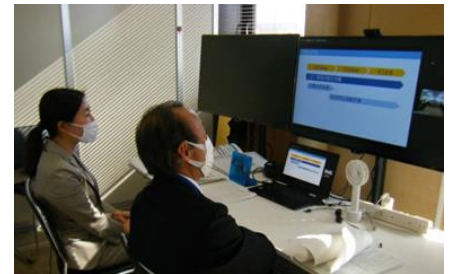


食害された水田（松前町）

## トマト産地の復活を目指した取組を全国で発表

久万高原農業指導班は、「第8回農業改良普及活動高度化全国研究大会」において、県代表として「地域の力を結集してトマト産地の復活を目指す～新規栽培者などの声を活かした多角的な普及活動～」と題した普及活動の取組を発表しました。

当班では、停滞傾向に陥ったトマト産地のV字回復を実現するために、人材育成と技術指導が有機的に機能する指導体制を組み、新規就農者の確保・育成と生産性の向上に取り組んでおり、その活動が高く評価され、「全国農業改良普及支援協会会長賞」を受賞しました。



リモートによる発表

今後も、高品質で安定した出荷によりトマトブランドの維持を図るとともに、新たな技術課題に対しても果敢に取り組む「10億円トマト産地の復活！」を目指します。



町営農支援センター等を核にしたトマト産地復活に向けた取組概要

# 農業女子会の活動紹介！

## 【松山地区の活動にあなたも参加しませんか？】

松山地域では、平成30年度から、技術習得や女性農業者同士の情報交換を目指す新たな「農業女子会」を3地区（興居島、中島、東温）で結成し、経営管理能力に優れた地域の女性リーダーを育成しています。基礎的な栽培技術講習会や6次産業化研修等を計27回開催し、延べ145人が熱心に受講しました。今後も農業女子会の活動支援と新たな組織の結成を目指し、地域農業を担う女性の技術と経営力の向上、女性就農者の確保を図ります。



かんきつの摘果方法を学ぶ



アシストスーツの効果を体感



機械のメンテナンス方法を習得

## 【伊予地区に一次産業女子のネットワーク「葉れるや」結成】

令和元年9月に伊予管内の若手農業女性7人で結成された“葉れるや”は、晴れた空の下ですくすくと伸びる葉っぱのように「メンバーが手と手をつなぎ、未来に向かって成長していく」姿をイメージして命名されました。

今年度は、新しく2人が加わり、共通ロゴマークの作成や他地区女性組織との交流のほか、携帯アプリ「LINE」を使って情報交換を行っています。



葉れるやメンバー



共通ロゴ作成研修会の様子



他地区との交流会

## 【久万高原でトマトを作いませんか！！】

久万高原町の「さくらひめ」メンバー3人は、全員がIターン就農でトマト栽培に取り組んでいます。同町への女性の就農者を呼びかけるため、7月にオンライン就農相談会に参加し、町の研修制度や農地、家の探し方をアドバイスしました。また12月のオンライン農業体験ツアーでは、地域の風景やトマト栽培について紹介し、久万高原町の魅力を発信しました。



オンライン就農相談



農業体験ツアーではドローン撮影による地域の風景も紹介



農業女子の活動に興味のある方はお気軽にお問い合わせください♪

☞ 県Webサイト「一次産業女子ネットワーク・さくらひめ」も要チェック！  
<https://ehime-marukajiri.jp/sakurahime/index.html>

## 次代を担う新規就農者を応援します！

### ☆同僚ふたりで法人を設立：(株) 苺遊園 (松山市)



向井佑介さん



若宮孝允さん



2人で相談できることが最大の強み

経営概要	高設イチゴ 20a、秋冬キャベツ等 28a
就農形態	新規参入 平成 30 年 1 月法人設立 同年 4 月就農
これからの夢	「大好きだった自然と関れる仕事を」と就農を決意。就農研修中に会った 2 人で (株) 苺遊園を設立。「楽しくやりたい」、「他人がやらないようなことに挑戦したい」という思いを胸に、高設いちご栽培を柱とした法人経営を行っている。 会社設立当初は苦勞の連続だったが、少しずつ自分たちのスタイルが出来上がってきた。安定した経営を目指し、こだわりの「美味しいいちご」を作り続けたい。

### ☆農業法人設立で経営の安定を図る：(株) ゆめゆめ農研 (松前町)



渡部貴信さん



栽培管理の様子

経営概要	施設きゅうり 20a、その他野菜
就農形態	新規参入 平成 29 年 6 月就農 令和元年 9 月法人設立
これからの夢	会社退職後愛媛県農林水産研究所で施設野菜を中心に研修し、平成 29 年 6 月に就農。目標であった経営の法人化を就農 3 年目で「株式会社ゆめゆめ農研」を設立し実現。現在は経営の安定を目指し生産量拡大や販売方法の開拓に取り組んでいる。将来は、経営の 6 次産業化に取り組むことと、地域農業の担い手として地域に貢献できる活動を行いたい。

### ☆若い力で地域を元気に：西山 将彰さん (久万高原町)



西山 将彰さん



稲刈りのスピードがとても速い！

経営概要	水稻 500 a (作業受託含む)、ピーマン 10 a
就農形態	Uターン 平成 27 年 4 月就農 (祖父の経営を継承)
これからの夢	水稻とピーマンを栽培している。 水稻は J A 出荷のほか、個人販売や飲食店と取引をしている。久万高原の清らかな水と自然で育った米は香りや味がよく人気です。暑い夏場の水管理や畔の草刈りが大変ですが、おいしいお米を待っていてくれる人のために頑張っている。 いずれは法人化して地域の農業を元気にしたいとの夢を抱いている。